

令和2年 国立循環器病研究センター 特別講演

情報化時代の医学研究 要素研究とシステム研究

[受付 16:00]

日時

令和2年1月10日(金) 16:30-18:00

会場

国立循環器病研究センター エントランス棟3F講堂

講師

自治医科大学 永井良三 学長

参加費

無料

事前の参加登録が

必要です

情報化時代となり、医学研究も大きく変わった。

要素還元的なメカニズム研究の重要性は変わらないが、分子や細胞レベルの解析を、

組織や器官の生理機能、病態、疫学などの多階層で構成されるシステムの理解に結びつけることが求められている。

さらに基礎研究から診断や治療法の開発に発展させる応用研究も重要となった。

生命や疾患は複雑なネットワークシステムを形成する。

このため医学研究では、要素に還元しつつ多段階でデータを統合し、システムを分析する必要がある。

基礎研究ではマルチオミクス解析、イメージング技術、分子構造解析、多臓器連関による恒常性維持機構に関する研究が大きく発展している。

臨床研究では、大規模臨床試験や、診療情報、レセプト情報などを用いたビッグデータ解析が始まった。

講演では、情報化時代の医学研究について自身の研究とともに、最近の科学技術振興機構での議論を紹介する。



自治医科大学 永井良三 学長

プロフィール

1974年	東京大学医学部卒 東大病院で臨床研修後、東京女子医大心研で研修
1977年	東京大学第三内科に入局、循環器を専攻
1983-1987年	米国バーモント大学生理学教室客員准教授
1988-1995年	東京大学検査部講師、第三内科助教授
1995-1999年	群馬大学第二内科教授
1999-2012年	東京大学循環器内科教授
2003-2007年	東大病院長
2010-2012年	東京大学トランスレーショナルリサーチセンター長
2012年-現在	自治医科大学学長
2014年-現在	科学技術振興機構 上席フェロー
2019年5月-現在	宮内庁皇室医務主幹

参加申込方法

メールでのお申し込み

参加希望の方は下記のメールアドレス宛に
1~5までの項目を記入の上、送信して下さい。

event@science-cafe.jp

1. 氏名/フリガナ (必須)
2. 所属企業・団体・機関名 (必須)
3. 部署・役職
4. メールアドレス (必須)
5. 電話 (内線) 番号

フォームからのお申し込み

<https://www.science-cafe.jp/lecture20200110/>